

令和6年度使用 小学校教科用図書調査研究結果

# 音 楽

令和5年8月23日（水）

伊予市教科用図書調査委員会

【調査・研究資料】教科名（音楽） No.1

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
17 教育出版	音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている教科及び学年の目標・内容に照らし、A表現・B鑑賞の各領域で適切なものが選択されている。</li> <li>○ 内容は、児童の発達段階に適している。</li> <li>○ 内容は、児童の生活や経験などに配慮し、楽しく学習しながら着実にステップアップできるよう選択されている。</li> <li>○ 誰もが見やすい書体や色づかいに配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容は、系統的・発展的に構成されている。</li> <li>○ 巻頭の「学習マップ」で学年を通じた学習の見通しを示すことで、児童の主体的な学習を引き出すことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 巻末の「ショートタイムラーニング」では、他教科と関連する活動や、歌を通して外国語に親しむ活動が設けられており、教科横断的扱いができるよう配慮されている。</li> <li>○ 全校で取り組める楽曲が取り扱われており、低・中・高それぞれの発達段階に合わせた編成で、全校でひとつの歌を歌う一体感や楽しさを体験することができる。</li> <li>○ 「まなびリンク」として学習に対応した動画等の資料がWEB上で用意されており、児童が主体的に学べるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各題材において「まなびナビ」として、学習のポイントが明記されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組み、学びが深まるよう配慮されている。</li> <li>○ 「音楽づくり」の活動においては、児童の思いや意図を生かして音楽をつくることができるよう、わかりやすい紙面構成になっており、学習活動の系統性や児童の発達段階に配慮されている。</li> <li>○ 巻末資料も豊富で、児童の主体的な振り返り等の活用が期待される。</li> </ul>	<p>学習指導要領に示されている教科及び学年の目標・内容に照らし、A表現・B鑑賞の各領域で適切なものが選択されており、児童の発達段階に適している。</p> <p>学びの系統性に配慮し、丁寧なステップアップを取り入れることで、児童の「学びたい」気持ちを大切にしながら、音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的・協働的に学ぶことができるよう構成されている。</p> <p><u>以上のことから、採択するのに最も適している教科書であると考える。</u></p>

【調査・研究資料】教科名（音楽） No.2

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
27 教育芸術社	小学生の音楽	<p>○ 学習指導要領に示されている教科及び学年の目標・内容に照らし、A表現・B鑑賞の各領域で適切なものが選択されている。</p> <p>○ 内容は、児童の発達段階に適している。</p> <p>○ 幅広く学習活動を行うことができるように多様な教材が用意され、児童が意欲的に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>○ 楽譜や文字の大きさなど、児童の発達段階に応じて設定されており、見やすさ読みやすさについても十分配慮されている。</p>	<p>○ 内容は、系統的・発展的に構成されている。</p> <p>○ 題材で学んだことを振り返ることができるまとめが掲載されており、児童が「何を学び、何ができるようになったのか」を確認できるよう工夫されている。</p> <p>○ 他教科との関連を図ることで、学習を深めることができるよう、調べ学習や英語の歌、日本の古典芸能等が適切に配置されている。</p> <p>○ 1年間の見通しをもつ「学習マップ」や、1年間の学習を振り返る「ふり返りのページ」が設けられ、児童が主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。</p> <p>△ QRコードが記されており、情報をウェブサイトで見ることができるが、紙面からはどのような情報が見られるのかが分かりづらい所がある。また、動画による解説もあれば単旋律が流れるだけの所もあり、物足りなさを感じる。</p>	<p>○ キャラクターの吹き出しなどで、活動の手がかりや学習のポイントが明記されており、児童が楽しみながら見通しをもって学習に取り組み、学びが深まるよう配慮されている。</p> <p>○ 「ふり返りのページ」がわかりやすい。学習してきた教材を例にしてまとめられており、具体的に振り返ることができる。</p> <p>△ 領域や分野ごとに児童が主体的・対話的な学習に取り組めるよう配慮されているが、情報量が多い。</p>	<p>学習指導要領に示されている教科及び学年の目標・内容に照らし、A表現・B鑑賞の各領域で適切なものが選択されており、児童の発達の段階に適応している。</p> <p>「何を学び、何ができるようになるか」が具体的に示されており、学びが着実に身に付き、深まるよう配慮されている。</p> <p>主体的・協働的に学ぶことができるような配慮が見られるが、特に文字による情報量が多く、説明も複雑なため扱いづらい。また、QRコードについての説明不足や、共通事項について記載位置が分かりづらいなども、扱いづらい要因である。</p> <p><u>以上のことから、採択するのに適している教科書である</u>と考える。</p>